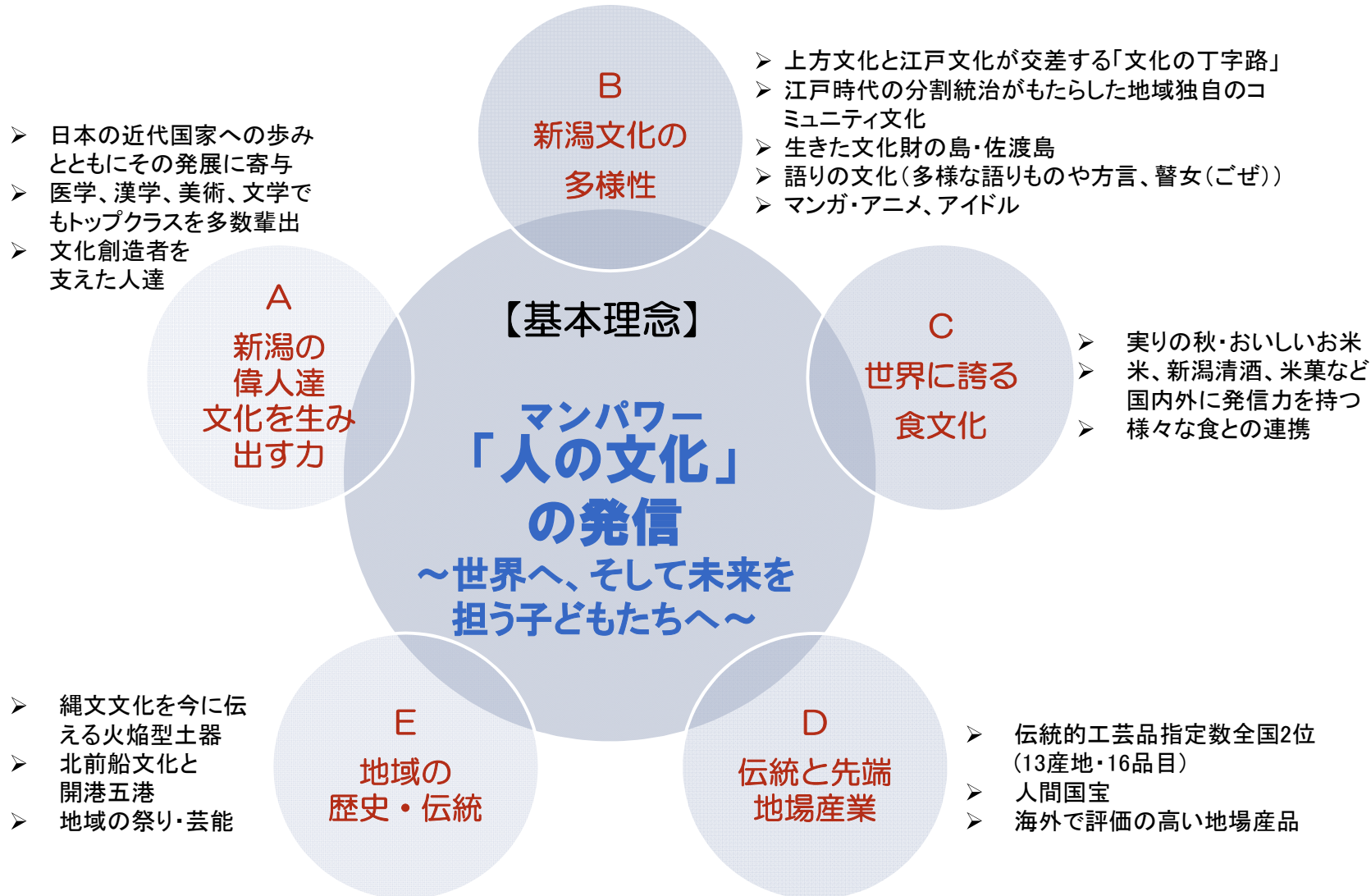


基本構想の概要

【 I 新潟開催の考え方】



【取組方針】

ふれる

- ☆ 県内外の多様多彩な文化活動や文化財にふれる
- ☆ 国内外の人々とふれあう
(交流を通じ県の文化活動を活性化)

つたえる

- ☆ 次世代につたえる
(新潟文化の多様性の再認識)
- ☆ 国内外につたえる
(新潟文化の魅力を発信)

つなぐ



- ☆ 人と人をつなぐ
(喜びや感動の共有、多様性を理解・尊重する心の醸成)
- ☆ 未来へつなぐ
(新しい文化や人材の創出)

ひろげる

- ☆ 文化の幅を広げる
(異分野との連携・交流)
- ☆ 交流人口の拡大

基本構想の概要

【Ⅱ 開催概要】

名称	第34回国民文化祭・にいがた2019 第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会
テーマ等	【テーマ】 文化の丁字路 ～西と東が出会う新潟～ 【キャッチフレーズ】 文化ふつつ新潟！
会期	平成31年9月15日(日)～11月30日(土) 77日間
会場	広く新潟県内各地で開催します。〈開会式会場：朱鷺メッセ〉
主催者	文化庁、厚生労働省、新潟県、新潟県実行委員会、県内市町村、文化団体等
シンボルマーク マスコットキャラクター	シンボルマーク(第1回国文祭から使用)  福田繁雄(グラフィック・デザイナー) マスコットキャラクター 「トッキッキ」 
ロゴマーク	新潟開催に向けた機運醸成を図るため、公募で決定(対象:30歳以下)

事業展開の方向

(ふれる)

- ・ 県内各地で多彩なイベント開催し、県民が文化に触れ、参加・交流を促進
- ・ 子どもから高齢者、障害者や外国人など全ての人が楽しめる大会

(つたえる)

- ・ 地域文化の掘り起し・活用(まつり、伝統芸能、文化財等)
- ・ 子ども達の、優れた文化芸術や地域文化、偉人、地場産業等多様な文化の体感
- ・ SNS等活用、国内外へ発信(観光等と連携)

(つなぐ)

- ・ 異分野間のコラボ、若者や留学生、障害者などの参画を促進
- ・ 障害の有無にかかわらず、文化芸術活動を通じ感動の共有、相互理解
- ・ ボランティア等人財育成

(ひろげる)

- ・ 観光、産業、食等との連携による集客
- ・ 異文化、世代間交流で新潟文化の幅を拡げ魅力を向上

【テーマ】 「文化の丁字路(ていじろ) ～西と東が出会う新潟～」

北前船によって海路から上方文化、陸路から江戸文化が新潟の地で交差・融合し、「文化の丁字路(ていじろ)」が形成されました。

丁字路を日本地図に重ね合わせると、「人」という文字にも見えてきます。



西と東が出会う、ここ新潟から、「人の文化」を世界へ、そして未来へ発信していきます。